

【連絡先】
(一社)日本船用工業会
文屋、三田村
TEL : 080-4053-0345

令和6年8月5日
(一社)日本船用工業会

第32回 船用技術フォーラムの開催

(一社)日本船用工業会では、「第32回船用技術フォーラム」を8月28日(水)13:00から16:45までウェビナー形式で開催します。(別添参照)

今年度フォーラムの講演内容としては、令和5年度に終了した日本財団助成事業である新製品開発助成事業6件の成果を発表するとともに、新燃料の現状と今後の見通しについて関係者よりご講演をいただく予定です。

申し込み方法等は下記のとおりです。当会会員及び当会事業に関心のある会員以外の方も含め奮ってご参加をいただければ幸いです。

記

- ・参加費は、無料です。
- ・参加を希望される方は、当会ホームページより申込フォーム (<https://forms.office.com/r/nrcFze6cm6>)へ入力いただくか、下に記載のメールアドレス宛に「氏名・メールアドレス・所属・役職」をご連絡ください。
- ・申込締め切りは、8月26日(月)(厳守)です。

連絡先 : (一社)日本船用工業会 技術部 文屋、三田村
電話 : 080-4053-0345
E-mail : mitamura@jsmea.or.jp

第32回 船用技術フォーラム（技術開発成果発表会）

- 日 時 : 2024年8月28日（水） 13:00～16:45
- 配信方法 : ウェビナー形式（Microsoft 社 Teams を使用予定）
- 演 題 :

<オープニング> 13:00配信開始

- ・ご挨拶

一般社団法人 日本船用工業会
専務理事 澤山 健一

<I部：日本財団助成事業成果発表> 13:05～15:35

- ・ 船体と帆による風力利用の高度化システムの技術開発

商船三井テクノトレード株式会社
技術統括部 グループリーダー
山本 剛 氏

- ・ 船用無線ひずみ船体構造モニタリングシステムの技術開発

沖電気工業株式会社
課長
菊地 明 氏

- ・ 内航船等の操船者の負荷軽減を実現する普及型夜間画像認識システムの技術開発

JRCS 株式会社
技術営業部 技術営業課 課長補佐
古賀 聖 氏

- ・ AI 画像認識を利用した物標検出センサと船上センサのセンサフュージョンに関する技術開発

日本無線株式会社
マリンシステム事業部 情報ビジネス技術部 Smart Ship グループ
野一色 崇志 氏

- ・ 次世代燃料用ボイラ向けのバーナの技術開発

ボルカノ株式会社
開発本部 研究開発部 グリーン戦略室 室長・理事
長谷川 宏樹 氏

- ・ IMO基準に適合可能な小型・高効率の船体付着生物除去システムの技術開発

ヤンマーマリンインターナショナル株式会社
開発部 ソリューション開発部 海洋グループ 開発担当
内木 敏人 氏

（時間調整：10分）

<Ⅱ部：新燃料の現状と今後の見通し> 15：45～16：45

- ・バイオディーゼルの船用燃料向け活用について（仮）

豊田通商株式会社

カーボンニュートラルフューエル部サステナブルソリューショングループ

課長補佐

小野 譲二 氏

- ・船舶用新燃料に向けた三菱ガス化学の取り組みー環境循環型メタノール Carbopath™
（仮）

三菱ガス化学株式会社

C1 ケミカル事業部カーボンニュートラルプロジェクトグループ

主席 博士（工学）

松川 将治 氏

<クロージング> 16：45 配信終了予定

（注：プログラム・演題・講演者については、都合により予告無く変更されることがあります。）